

学校関係者評価報告書

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校経営</p> <p>地域の情報発信はなかなか難しいと思うが、バラ展・工業祭などで多くの地域の方々に足を運んでもらって校内の様子を見ていただければ、評価も上がるのではないかと。</p> <p>情報発信の際は、ホームページ等で生徒の生の声を載せたりするとよいのではないかと。</p> <p>生徒が「たより」を読んでいる割合が低いとの評価であるが、引き続き関心を持つように指導を心がけていただきたい。</p> <p>P T A総会の出席率向上のために、参加者の多い母親へのテーマを設定したり、イベントと兼ね合わせたりするなど、可能な範囲で工夫できるとよい。</p> <p>図書館利用者数、図書貸出し冊数は目標を達成し、成果が見られる。</p> <p>(2) 学習指導</p> <p>一日当たりの家庭学習時間（平日）43分はさみしい。目標が達成できた生徒の割合を提示いただきたい。</p> <p>教職員の達成率が昨年度と比較して全体的に良くなかった結果になっている。生徒や保護者の評価も低いので、質の向上に努めてほしい。</p> <p>授業改善など、教師サイドの努力充実で成果がみられる。分かる授業づくりのための授業改善、校内研修の充実をぜひ継続していただきたい。</p> <p>(3) 工業教育</p> <p>各種資格取得等かなり積極的に挑戦し、実績を上げておられる。今後も継続され、高度な資格取得に挑戦されたい。</p> <p>保護者や地域住民の評価が低い項目がある。いろいろな分野で活躍していることを機会を捉えて発信し、よく実情を知っていただくことが大事だと思う。</p> <p>工業高校の生命線である専門性を生かした各分野での活躍はすばらしく「ものづくりの推進」、における「A」評価は、今年度もそれにふさわしいものである。</p> <p>(4) 特別活動</p> <p>ボランティア活動への参加者数の増加や自主的な取組など、昨年度に比べ成果が見られる。高齢者との交流は注目すべき取組であり、期待している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、地域の方々へは各種たより等を回覧しているが、ホームページの更新回数の増加や放送等も利用した情報発信をしていきたい。 ・ 各種行事等において生徒の意見や感想を掲載したい。 ・ 各種たよりの配布を月末から担任の都合に合わせた日として、ショートホームルーム等で生徒が読む時間を確保しやすくする。 ・ 本年度まで進路指導課長による「進路ガイダンス」を開催していたが、参加者も少ないため、提言にあったように「母親」対象の講演会・講習会を実施したい。 ・ 図書館から発信する情報内容、発信の方法等を検討し、今後も継続的に読書啓発活動を推進していきたい。 ・ 家庭学習の定着に向けて、継続的に指導していくとともに、新たな方策を模索していきたい。 ・ 達成率が良くないものについては、内容を検証して対策を検討したい。 ・ 授業改善に向けての研修を、継続的に取り組みたい。 ・ 基礎的、基本的な検定を取得させ、基礎基本の定着を図る。さらに難易度の高い資格にも挑戦できるよう指導する。 ・ アンケートの結果からは、地域住民の方への社会人を活用した事業が十分に伝わっていないようである。ホームページ等での情報発信を引き続き行う。 ・ 本年度も生徒の活躍が顕著であった。特にものづくりコンテストでの活躍が大きく、来年度も引き続き各取組を充実させていきたい。 ・ ボランティアの申込み方法を変更し、分かりやすくしたことが増加につながったので、今後もボランティアの内容についてよく分かる掲示物を作成したい。また、高齢者との交流についても新しいボランティア活動を増やしていきたい。

<p>(5) 生徒指導</p> <p>地域住民として、生徒たちの表情や態度、雰囲気など落ち着きがあり好感が持てる。生徒は、恵まれた環境の中でおとなしく真面目になっていると感じる。</p> <p>交通ルールについてもほぼ守られており、遅刻数も減少し、高校生らしい身だしなみは守るべき条件を満たしていると思われる。</p> <p>生活習慣の乱れの原因（携帯電話等）を把握して、保護者との連携を密にした指導をすすめていくことが求められる。</p> <p>(6) 人権教育</p> <p>いじめられた生徒の割合だけでなく、解決したいじめの割合で評価する方がよいと思われる。</p> <p>学校全体が落ち着いており、指導の成果が出ているが、数値に表れにくい内面的な指導や環境づくりを着実にしていくことは大切である。</p> <p>いじめは犯罪であることを指導し、指導する側は常にアンテナを研ぎ澄ませてほしい。</p> <p>悩み事等を相談しやすい環境づくりに努めてほしい。生徒達の心は読めないが、日々の態度を見逃さないよう声かけが必要だと思う。</p> <p>(7) 進路指導</p> <p>進路指導は、生徒の将来にとって一番大切な指導だと思う。求人数の減少等厳しい社会情勢・環境の中で、就職・進学ともに全員の合格内定は、生徒の努力や学校側の取組の成果といえる。</p> <p>就職活動は厳しくなっており、1学年より生徒が将来の目標を立て、目標に向かって就活教育を推進する必要があると思われる。また、「やめない」「あきらめない」継続する力を身に付けてほしい。</p> <p>生徒、保護者共に進路についての話し合いの項目の評価が低いので、引き続き指導をお願いしたい。</p> <p>(8) 学校保健・学校安全</p> <p>生活習慣が、今後社会人になってからも重要になることを、生徒自身も知ってほしい。感染症の予防にも関心を持たせ、一人一人が実践できたことはすばらしいと思う。</p> <p>学校防災の研究しての実践成果を、八幡浜市の小・中学校や地域にぜひ還元していただきたい。</p> <p>防災意識は生徒たちにも徹底しなくてはならないものである。教職員と共に訓練に真剣に取り組んでいただきたいと思う。</p> <p>(9) 学校行政</p> <p>引き続き校内美化の意識を持ち、よりよい環境になるよう目指してほしい。</p> <p>目標の達成状況の分析、今後の改善方法も適切と思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・欠席・早退の防止として、今後も、ホームルーム担任を中心とした個別指導と入室届の徹底を行い、生徒へ自覚を促していきたい。また、家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣が身につくよう保護者に協力をお願いしていきたい。 非行防止教室や全校集会等で繰り返し指導を行い、規範意識を高めていきたい。また、校門指導や登校指導をとおして、交通安全指導の徹底を行いたい。挨拶については、これまでの校門指導を中心とした挨拶運動を継続し、授業や部活動での挨拶の徹底も行っていきたい。 いじめ問題に対する数値目標は、「いじめる生徒、いじめられる生徒0%を目指す。」としており、アンケートで回答した生徒の数を評価対象としているが、解決したいじめ解決の割合についても表記していきたい。 いじめ問題の解消は学校における喫緊の課題である。未然に防止すること、早期に発見・対応することを中心にいじめられる生徒・いじめる生徒のいない学校を目指して取り組んでいきたい。 来年度の就職も今年度並みの厳しさが予想されるため、進路講話やホームルーム活動等を通して生徒に早期に意識付けを行うとともに、模擬試験、適性検査、夏期補習等の充実を図る。また、学力向上を目指した各種補習指導を行い、就職、進学に必要な学力の向上を図っていく。 開かれた進路指導室を目指し、生徒が気軽に相談できる環境を整えるとともに、ホームルーム担任等にも進路に関する面談等の充実を働きかける。また、進路講話等を通じて、勤労観、職業観の育成を図っていく。 今後も引き続き生活習慣の確立を目指し、健康管理や衛生管理について情報発信を行ってきたい。 来年度は、近隣の松蔭幼稚園、松蔭小学校、江戸岡小学校の津波避難訓練等に本校生徒も参加するなど、少しでも地域の方々と共に生き延びる取り組みを行う。 防災マニュアルを基に、訓練を繰り返し実施することにより、生徒たちの防災意識を高めていく。 今後も引き続き、よりよい接遇と校内美化、整備に取り組んでいきたい。
---	---

2 重点努力目標について

分かりやすく、意欲化につながる目標（スローガン）であり、適切である。

昨年度に続いて、溶接技術競技会（四国優勝）、ロボット競技会（全国大会出場）、ものづくり全国大会（準優勝）、レスリング部（国体出場）、県工業科生徒研究発表会最優秀賞（機械科と土木科）等々、四国・全国レベルでの生徒の活躍をたたえたい。ものづくりの生徒の活躍ぶりが報道され、学内で学んでいる様子がたくさんの方の目に留まった。生徒たちは、自分たちの努力の結果を知ってもらうことで、より一層励みになることと思う。

重点努力目標「ものづくりから人づくり・夢づくり、信頼される学校づくり」に向けて適切に努力、行動された結果、目標が着実に達成されていると考える。

3 説明・公表について

学校正門前の壁新聞、配布される各種たより、ホームページなどで、学校の様子がよく分かるので、現在の方法で適切であると考え。ホームページの更なる充実を望みたい。

4 学校運営全般について

学校評価委員へのたよりの送付、各種行事や授業参観の案内等、きめ細やかな対応に感謝したい。また、「出前授業」や地域に出向いての活動、非常変災時の避難場所指定など、地域との関わりも大事にされているのでうれしく思っている。

保護者アンケート「本校に入学させてよかったですか？」の達成率90%は、保護者の学校に対する高い信頼の表れだと考える。「教育は人なり」と言われるが、これらの多くの成果は、生徒のたゆまぬ努力はもちろんだが、彼らを指導しそのよさを引き出された先生方の熱意と力量があつてのことであり、敬意を表したい。

学校の評価の判定は、少し厳しいように思う。周りからも高く評価されて十分に成果が出ているので、目標を達成した時は、もっと高い評価を付けていいと思う。

ここ最近入学を希望する生徒が減少している。少子化の時代ではあるが、少しでも入学を希望する生徒が増えるよう努力されたい。保護者や中学校の進路指導をする先生が上層教育（大学進学）できる学校選択をされていると思う。工業高校も開校指針を変えることはできないにしても、大学進学を考えている生徒については対策を講じる必要があるのではないかと考える。過去に、愛媛大学に進学（推薦入学）した実績もあるのだから、検討する時期にあると考える。

今後も、学校の特色を生かし、強い精神力と豊かな心を持つ生徒の育成に努めるなど、生徒も保護者も本校に入学してよかったと満足できる学校運営を望みたい。

重点努力目標「ものづくりから人づくり・夢づくり、信頼される学校づくり」に沿って、教職員と生徒が力を合わせて努力し、また、保護者や地域の方々の支援の結果、今年度も各方面で良い成果を出すことができた。それを各種新聞、テレビ報道などで紹介されたことは、生徒のよい励みとなった。各種競技会や発表大会に生徒が参加することで、達成感を味わうことができるので、今後も積極的に取り組ませたい。

重点努力目標を掲げ、今後も引き続いて様々なことに挑戦をさせたい。その過程で生徒が大きく育つと確信している。

年度初めに、学校評議員様から御指摘のあった「本校ホームページの更新が遅い」ことについて、検討を重ねた結果、次年度よりシステムを一変することとなった。大きな行事があるごとに更新されるので期待していただきたい。

今年度、本校は県から「学校総合防災力強化推進事業における学校防災教育実践モデル校」の指定を受けて様々な活動をした。その一環として、万一の災害直後には、生徒の安全が確保できたならば地域の高齢者宅を訪問して支援することとなった。こうした、地域に溶け込み、地域から必要とされる学校を今後も目指したい。

今年卒業した生徒の保護者から「入学させる前は、正直不安だった。こんなに良い学校だったとは知らなかった。今は、本当に八幡浜工業高校に子どもを入学させて良かったとしみじみ感じている。このことをもっと地域の方々に知ってほしいと思っている。」と聞いた。よって、評価基準を見直してもよいと考えている。

毎年、推薦枠を利用して工業系四年制大学に進学する生徒はいるが、今後は、愛媛大学など国立大学法人の大学や、有名私立大学進学を念頭に進学指導を全般的に見直すなど、検討をしたい。そして、就職も進学もできる学校として地域から高い評価を受けられるように努力したい。

学校運営全般について、高い評価をいただいているが、今後も保護者と地域の方々に支援していただきながら、より良い学校運営を目指し、今後も引き続き鋭意努力したい。